

# 北興化学工業株式会社

---

2025年11月期決算説明資料

2026年1月13日

東証スタンダード 証券コード4992

# 決算説明資料目次

I	2025年11月期決算ハイライト	2
II	2026年11月期連結業績予想	13
III	第2次3ヵ年経営計画(2024年度～2026年度) への取組状況	17
【参考資料】		
	2025年11月期決算時系列データ	21

# I 2025年11月期決算ハイライト

# 2025年11月期決算ハイライト <①連結業績概況>

## ➤ 売上高

農薬事業の売上が伸長(前年同期比+2,740百万円)したことから、49,125百万円、前年同期比2,930百万円(+6.3%)の増収

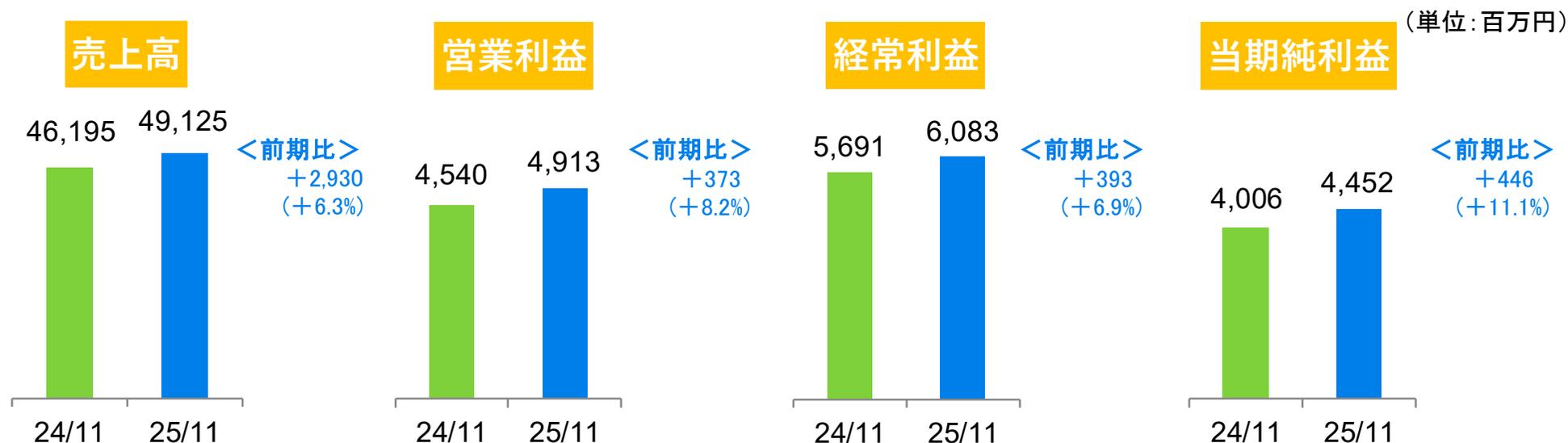
- ◆農薬事業は、これまでの普及推進活動の成果に加え、米価上昇やカメムシ多発の予察情報による防除意欲の高まりなどにより、国内販売は水稻剤・園芸剤ともに好調に推移。海外販売も中南米向け(メキシコ等)の受注増加により、増収
- ◆ファインケミカル事業は、樹脂分野等が海外経済減速や価格競争の影響を受け減少したものの、医農薬分野の回復等や電子材料分野の受注増により、増収
- ◆繊維資材事業は、主に産業用繊維素材の販売が増加したことにより、増収

## ➤ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益は、農薬事業の売上高増加や利益率改善により、4,913百万円、前年同期比373百万円(+8.2%)の増加

経常利益は6,083百万円、前年同期比393百万円(+6.9%)の増加。

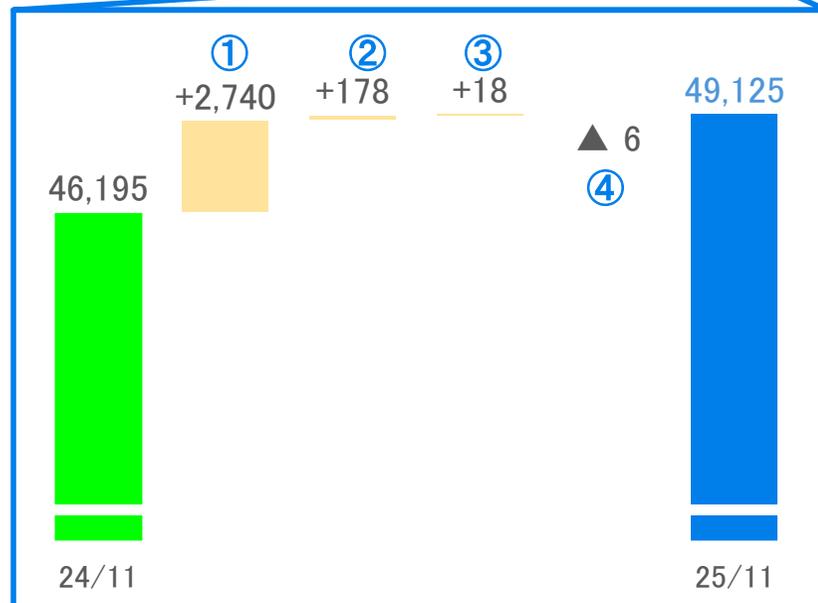
親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益(345百万円)の計上もあり、4,452百万円、前年同期比446百万円(+11.1%)の増加



# 2025年11月期決算ハイライト <②連結業績 売上高増減要因>

(単位:百万円)

	2024年度	2025年度	前年同期比
農 薬 事 業	26,658	29,398	+ 2,740 ①
ファインケミカル 事 業	17,607	17,785	+ 178 ②
繊維資材事業	1,919	1,936	+ 18 ③
そ の 他	12	6	▲ 6 ④
合 計	46,195	49,125	+ 2,930



## ①農薬事業 +2,740百万円 増収

- ・国内販売+2,532百万円
- ・海外輸出+190百万円  
(以上、単体)

## ②ファインケミカル事業 +178百万円 増収 増加

- ・医農薬分野+1,896百万円  
(有償支給額控除前+2,293百万円)
- ・電子材料分野+164百万円

## 減少

- ・樹脂分野▲1,255百万円
- ・その他分野▲606百万円  
(以上、単体)
- ・中国子会社▲61百万円

※詳細はP9を参照

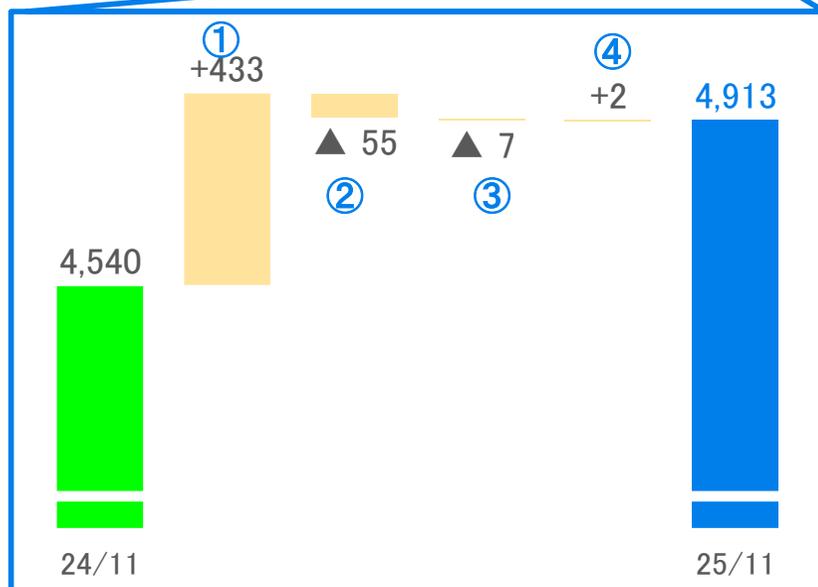
## ③繊維資材事業 +18百万円 増収 主に産業用繊維素材の販売が増加

## ④その他 ▲6百万円 減収

# 2025年11月期決算ハイライト

(単位:百万円)

	2024年度	2025年度	前年同期比
農 業 事 業	405	838	+ 433 ①
ファインケミカル 事 業	4,060	4,004	▲ 55 ②
繊維資材事業	89	81	▲ 7 ③
そ の 他	▲13	▲11	+ 2 ④
合 計	4,540	4,913	+ 373



## <③連結業績 営業利益増減要因>

### ①農業事業 +433百万円

\*1:P25参照

売上高の増加や利益率改善\*1(生産数量増による固定費比率低減)により**増益** (単位:百万円)

	2024年度	2025年度
営業利益	405	838
受取手数料*2 (営業外収益)	488	543
受取手数料込 営業利益	893	1,381

\*2:製品の普及拡大支援のため仕入れ先から受け取る手数料。経営管理上、営業利益に加算して管理。

### ②ファインケミカル事業 ▲55百万円

価格競争の影響を受けた樹脂分野の減収や中国子会社の減益の影響により**減益**

### ③繊維資材事業 ▲7百万円

退職給付費用の増加により**減益**

### ④その他 +2百万円

#### <参考> 営業利益の連単差

2025年度 411百万円(連結4,913-単体4,502)

2024年度 673百万円(連結4,540-単体3,867)

前期比 ▲262百万円

※主に中国子会社の減益が要因

(参考)中国子会社の前年度は、石化用触媒(TPP)のスポット需要があった。



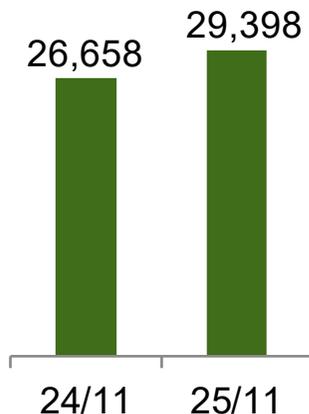
# 2025年11月期決算ハイライト <④参考:連結業績(セグメント別)>

(単位:百万円)

売上高

## 【農薬事業】

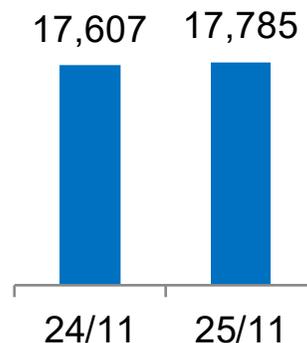
～増収増益～



<前期比>  
+2,740  
(+10.3%)

## 【ファインケミカル事業】

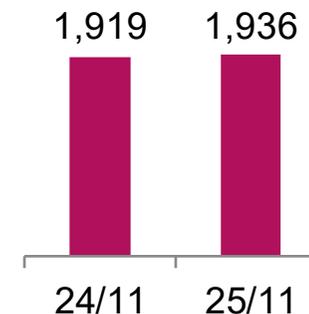
～増収減益～



<前期比>  
+178  
(+1.0%)

## 【繊維資材事業】

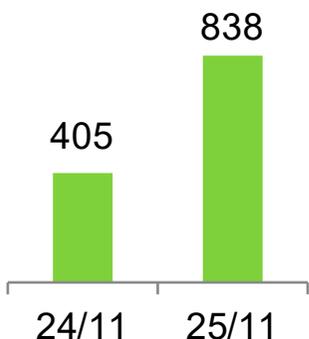
～増収減益～



<前期比>  
+18  
(+0.9%)

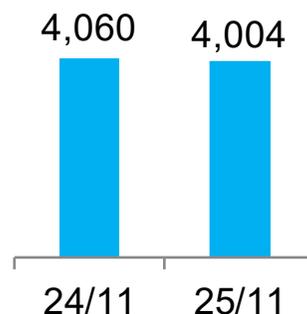
営業利益

[+1.5%] [+2.9%]



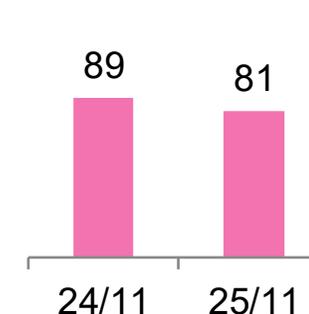
<前期比>  
+433  
(+107.0%)

[+23.1%] [+22.5%]



<前期比>  
▲55  
(▲1.4%)

[+4.6%] [+4.2%]



<前期比>  
▲7  
(▲8.0%)

※営業利益額上方のカッコ内の%表示は、営業利益率

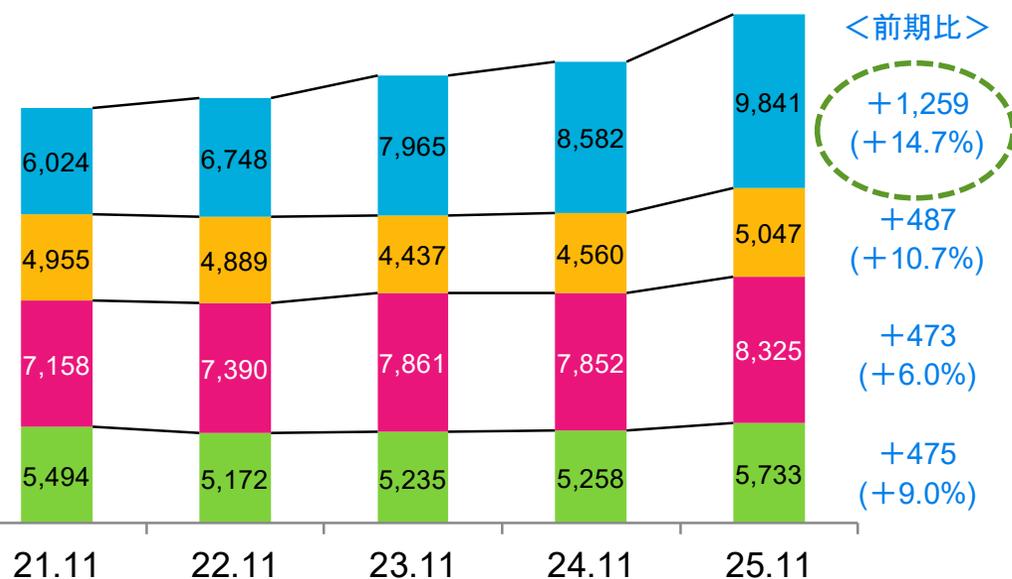


# 2025年11月期決算ハイライト <⑤農薬事業トピックス>

## 種別別(単体)

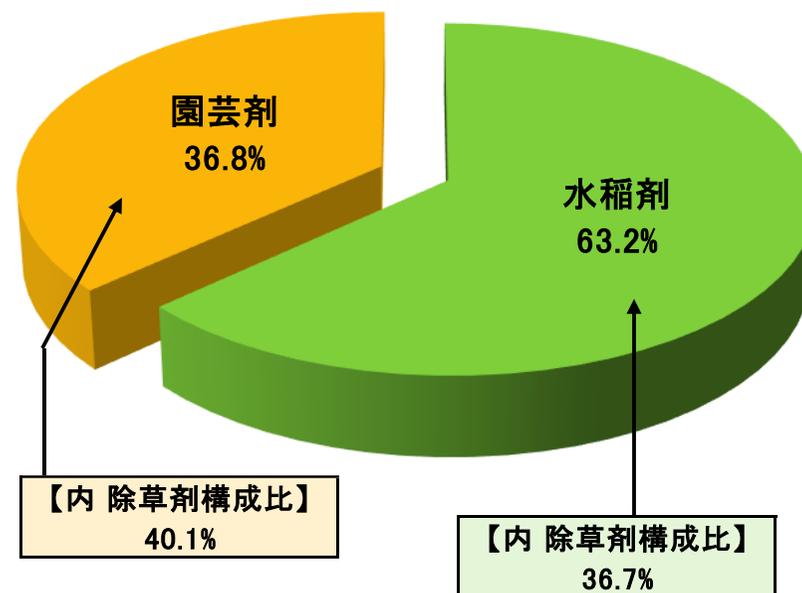
(単位：百万円)

■ 殺虫剤 ■ 殺菌剤 ■ 殺虫殺菌剤 ■ 除草剤



## 国内農薬売上の分野別構成(単体)

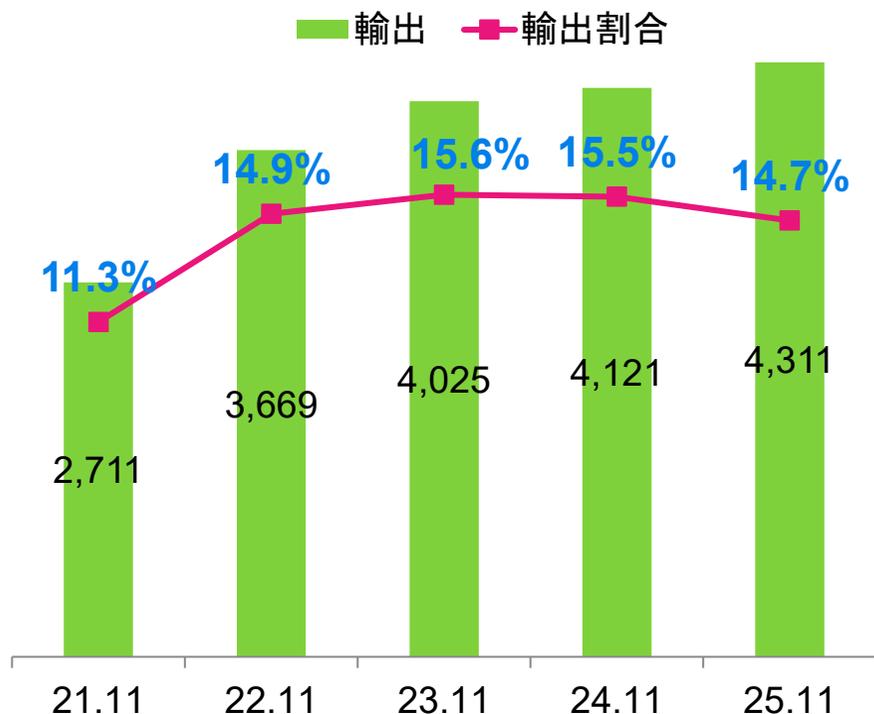
(2025年11月期)



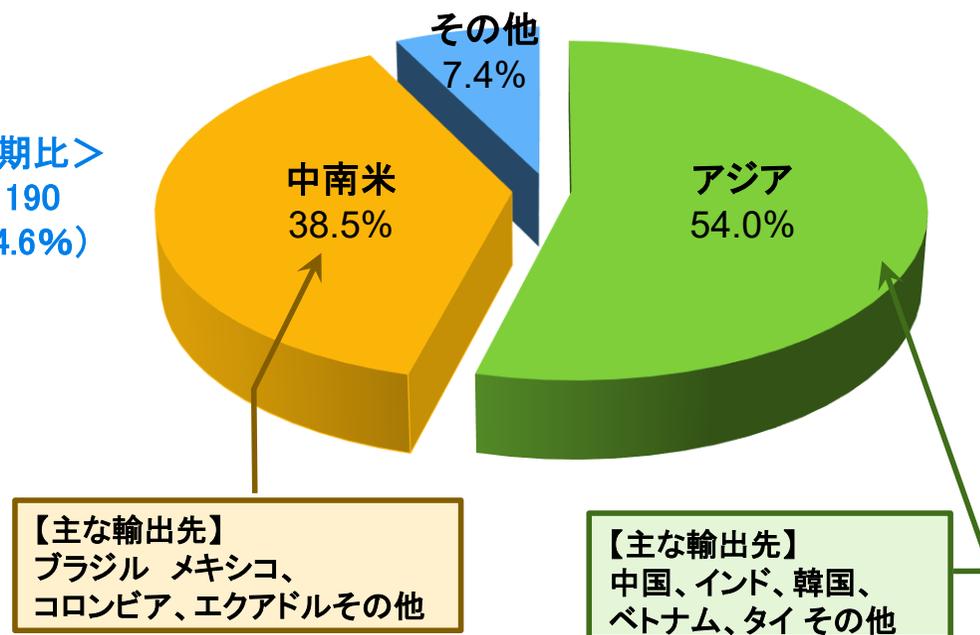
- 水稲剤においては、米価上昇やカメムシ多発の予察情報による防除意欲の高まりにより好調に推移、前期比9.6%増(売上高:16,218百万円)
- 園芸剤においては、除草剤ザクサ液剤が好調に推移、前期比8.1%増(売上高:9,426百万円)
- 分野別構成比としては水稲剤が前期比で0.3ポイント増加

# 2025年11月期決算ハイライト <⑤農薬事業トピックス>

輸出(単体) (単位:百万円)



輸出地域別構成(単体)  
(2025年11月期)



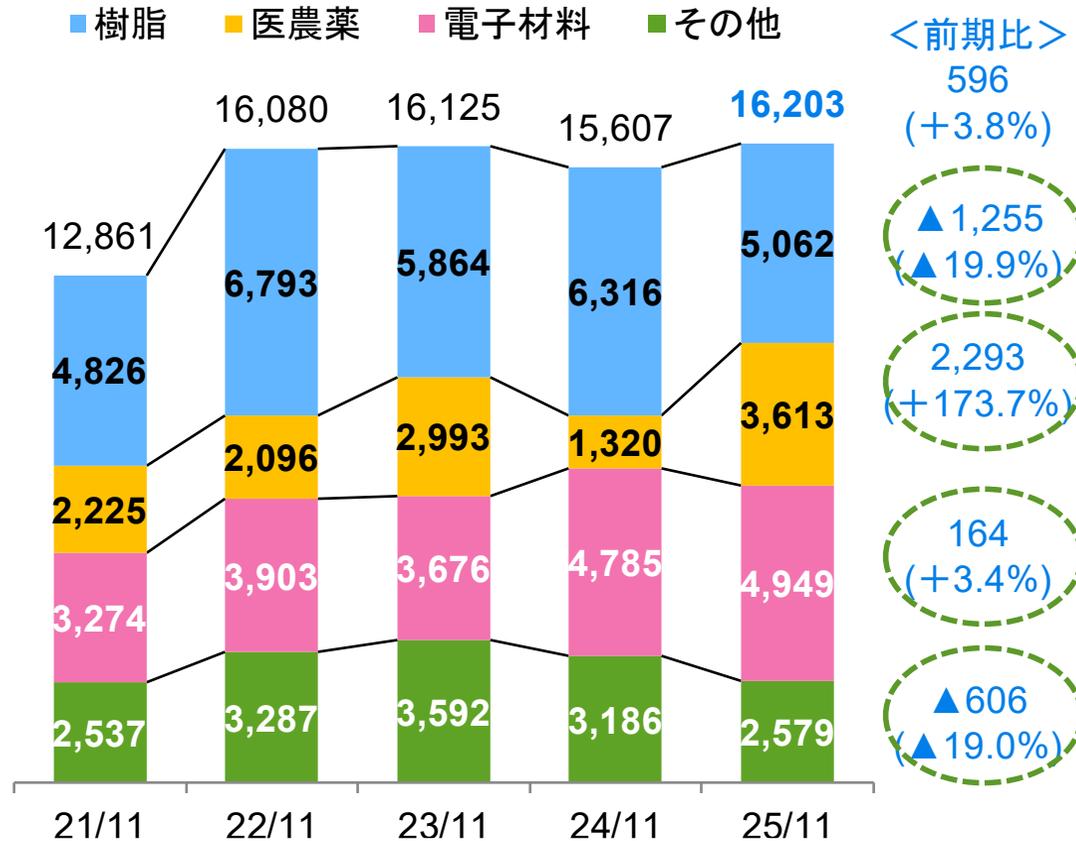
- 輸出売上高は、中国経済の減速の影響を受け中国向けが減少したものの、メキシコ向けの回復など、中南米向けを中心に堅調に推移し、増収
- カスガマイシンの増加に加え、イプフェンカルバゾン(水稻除草剤)についても2014年に韓国で登録、販売を開始して以来、徐々に登録国を増やし(現在8カ国)、堅調に業績に寄与している



# 2025年11月期決算ハイライト <⑥ファインケミカル事業トピックス>

## 分野別（単体）

（単位：百万円）



### <主な前年同期比増減内容>

- ◆ **樹脂分野: ▲1,255百万円 (▲19.9%)**
  - ・石化用触媒: ▲741 (主にTPP)
  - ・その他樹脂原料: ▲435 (塗料、コーティング剤等)
- ◆ **医農薬分野: +2,293百万円 (+173.7%)** (原料および中間体)
  - ・医薬: +737
  - ・農薬: +1,556
- ◆ **電子材料分野: +164百万円 (+3.4%)**
  - ・半導体関係: ▲46 (半導体封止材用の硬化促進剤)
  - ・フォトレジスト用途: ▲27 (うち、KrF向け▲308、生成AI向け+484)
  - ・その他: +288 (プリンター感光材、オフセット印刷用等)
- ◆ **その他: ▲606百万円 (▲19.0%)**
  - ・食品飼料: ▲193 (TPP: ビタミンA、ベータカロチン用途等)
  - ・防汚剤: ▲364

- 樹脂分野等は、海外経済減速や価格競争の影響や、前期の韓国向けスポット需要の剥落があり減少
- 医農薬分野は、農薬の需要回復、前期新規受託製品(医薬・農薬)の受注寄与により増加
- 電子材料分野は、生成AI向け原料の受注増などにより増加。KrF向け原料は在庫調整が続いている

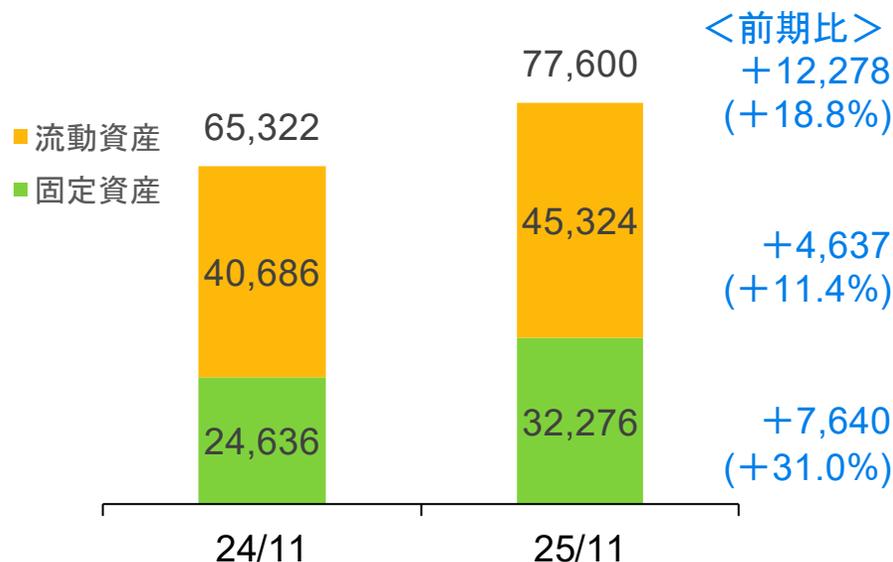
\*分野別 … 総売上高を当社の判断により各分野に分類しております。なお、上記総売上高には、収益認識に関する会計基準により売上高から控除される有償支給額等（2024/11月:0百万円、2025/11月:397百万円）が含まれております。

## 2025年11月期決算ハイライト

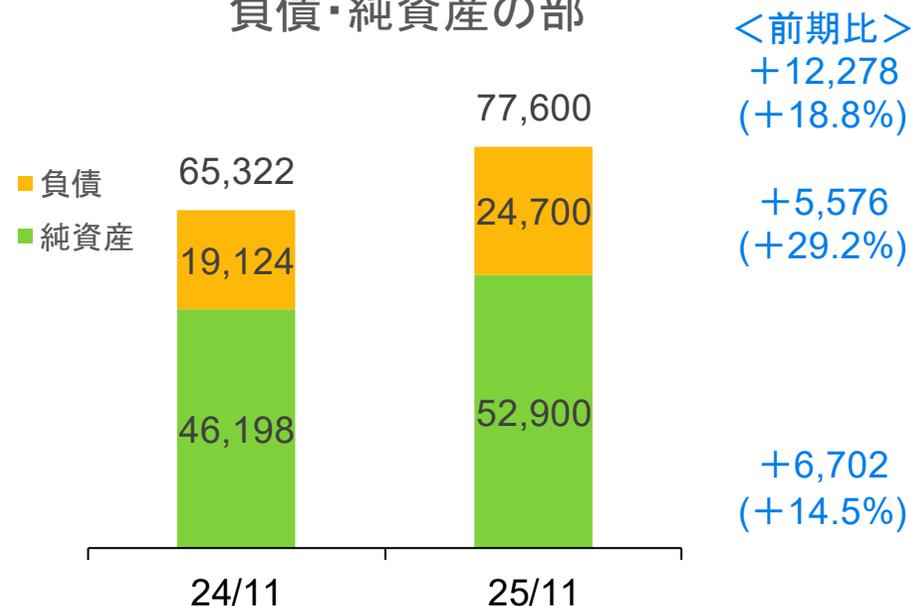
## ＜⑦連結貸借対照表＞

(単位:百万円)

## 資産の部



## 負債・純資産の部



## ➤ 資産

- ・流動資産:フリーキャッシュフローの増加による現預金の増加(+1,016百万円)、受取手形及び売掛金の増加(+1,887百万円)、有価証券の増加(+2,500百万円)、
- ・固定資産:建設仮勘定の増加(+1,194百万円)、投資有価証券の時価評価額の増加(+6,075百万円)

## ➤ 負債

- ・投資有価証券の時価評価額の増加等による繰延税金負債の増加(+2,111百万円)

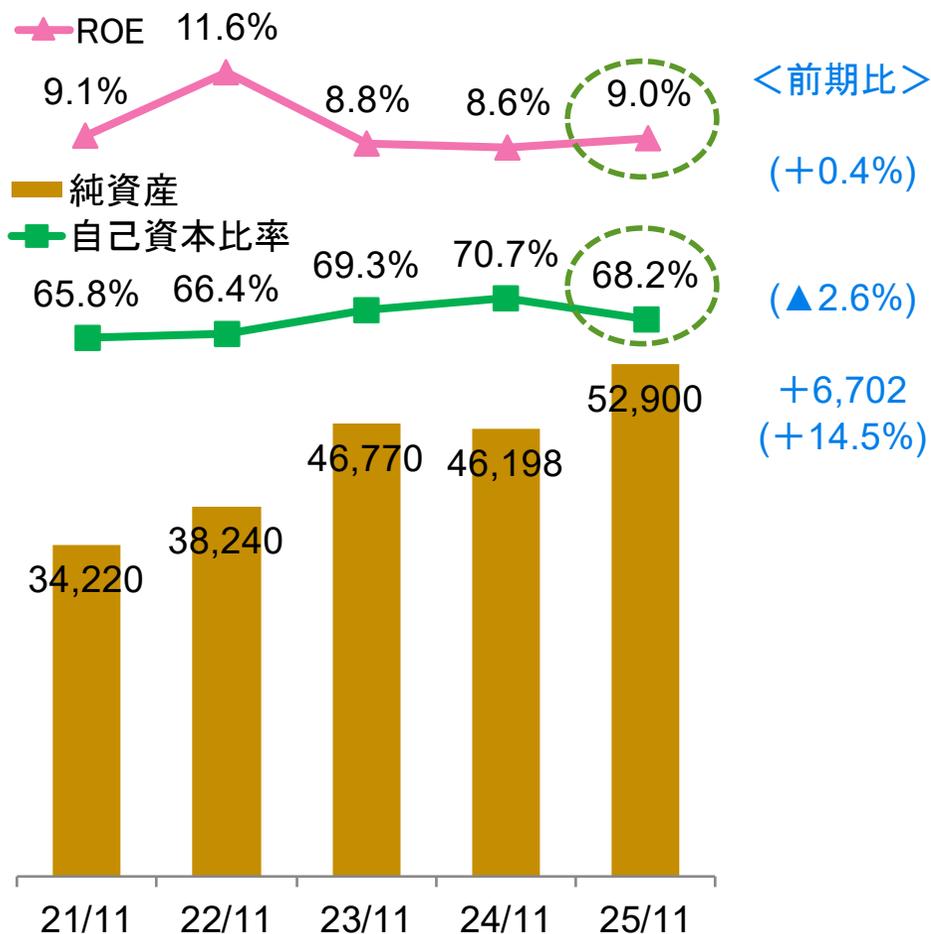
## ➤ 純資産

- ・利益の積み上げによる増加(+3,500百万円)、投資有価証券の評価差額の増加(+4,032百万円)、自己株式取得による減少(▲1,246百万円) ⇒自己資本比率は68.2%(前期比▲2.6%)



# 2025年11月期決算ハイライト <⑧連結経営指標>

(単位:百万円)



➤ 第2次3カ年経営計画の2026年度目標としている、ROE8%以上、自己資本比率60%以上、いずれの指標も達成

# 2025年11月期決算ハイライト <⑨株主還元>

## <<基本的な考え方>>

財務の健全性や成長投資とのバランスを図りつつ、安定した配当の継続を基本に株主還元の充実に努める。

## <<配当方針>>

本経営計画(2024~2026年度)において、累進配当を基本方針とし、利益の成長に応じた増配を目指す。

累進配当:原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策

<経営計画期間>  
累進配当方針

## 1株あたり配当金の推移(円)



配当金総額	221	248	276	327	406	460	487	515	569	650	859	1,197	—
配当性向	22.1%	13.1%	14.0%	16.5%	13.8%	16.3%	20.3%	17.6%	13.5%	17.5%	21.6%	27.1%	31.2%
総還元性向	22.1%	13.1%	14.0%	31.5%	13.8%	16.3%	20.3%	17.6%	13.5%	17.5%	36.5%	53.8%	—
自己株式取得	—	—	—	300	—	—	—	—	—	—	601	1,199	—

## Ⅱ 2026年11月期連結業績予想

# 連結業績予想

(百万円)

	2025/11実績		2026/11予想		増減	増減率
売上高	49,125	(100%)	52,000	(100%)	+2,875	+5.9%
営業利益	4,913	(10.0%)	5,200	(10.0%)	+287	+5.8%
経常利益	6,083	(12.4%)	6,100	(11.7%)	+17	+0.3%
当期純利益	4,452	(9.1%)	4,460	(8.6%)	+8	+0.2%

◆想定為替レート(1米ドル=)・・・ 2025年:140円(実績:148.90円)、2026年:145円

- 売上高は、農薬事業での国内販売・海外輸出の堅調な伸び、ファインケミカル事業での電子材料分野における需要回復により、増収の見込み
- 営業利益は、農薬事業および、ファインケミカル事業における売上高の増加を主因に、増益の見込み
- 経常利益は、為替差益(2025年度 59百万円)の剥落や、受取配当金の減少を見込み微増
- 当期純利益は、微増

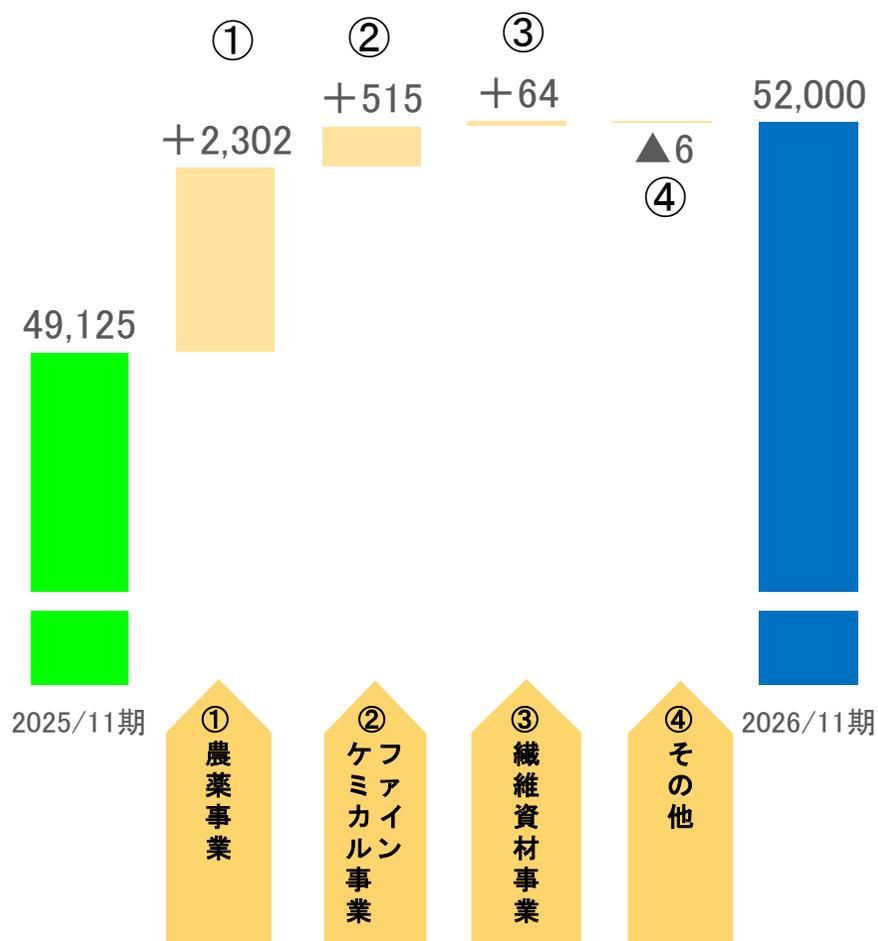
## セグメント別連結業績予想

		2025/11 実績	2026/11 予想	増減	増減率	見込み
農薬事業	売上高	29,398	31,700	+2,302	+7.2%	国内販売は、水稻剤・園芸剤ともに堅調な販売により、増収となる見込み。海外販売については自社原体イプフェンカルバゾンの拡販の寄与により、増収となる見込み。
	営業利益 (利益率)	838 (2.9%)	750 (2.4%)	▲88	▲10.5%	成長投資に伴うコストの増加(原体再評価、原体創製、新製剤開発に伴う研究開発費等)や、販売数量増加に伴う運賃倉敷料の増加により、減益を見込む。
ファインケミカル事業	売上高	17,785	18,300	+515	+2.9%	電子材料分野(KrFフォトリソ原料)の需要回復やその他分野(食品飼料等)の拡販により、増収となる見込み。
	営業利益 (利益率)	4,004 (22.5%)	4,400 (24.2%)	+396	+9.9%	樹脂分野における価格競争の影響が続くものの、売上高の増加により増益を見込む。
繊維資材事業	売上高	1,936	2,000	+64	+3.3%	環境配慮型再生繊維素材の拡販により、増収となる見込み。
	営業利益 (利益率)	81 (4.2%)	85 (4.2%)	+4	+4.3%	増収による、増益を見込む。

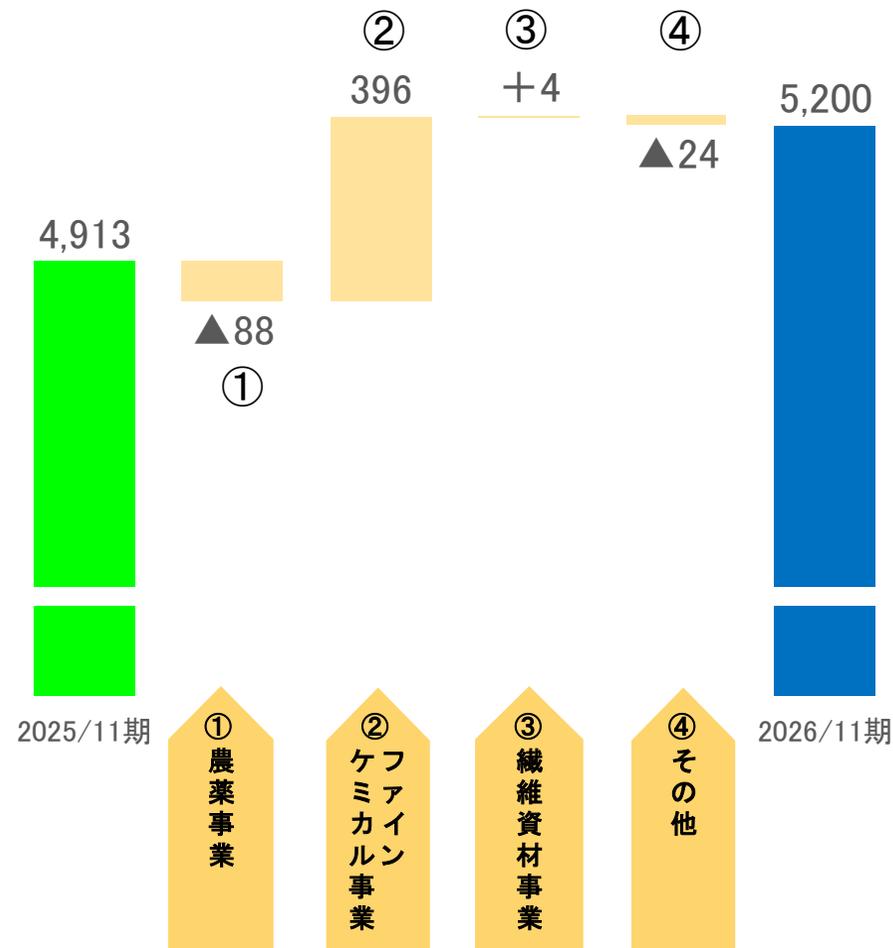


# 連結業績予想(売上高・営業利益増減見込)

## 売上高増減要因



## 営業利益増減要因



# Ⅲ 第2次3カ年経営計画 (2024年度～2026年度) への取組状況

# 経営目標

- 経営計画への着実な取り組みにより、農薬事業・ファインケミカル事業の双方の業績が順調に推移していることから、第2次3カ年経営計画の業績目標および長期業績目標を上方修正

	従来の長期業績目標 (2029年度)
売上高	520億円
経常利益	60億円



長期業績目標 (2029年度)
550億円
68億円 + $\alpha$

## 投資額の見通し

2021～2023 実績	2024～2026 予定	2027～2029 現時点の概算
71億円	100億円	150億円 + X ※

※工場再構築、原体取得、M & A、アライアンスなどに機動的に対応

		(百万円)				<参考>
		1st Stage (2021～2023)	2nd Stage (2024～2026)		3rd Stage (2027～2029)	
		2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 業績目標	長期業績目標 (2029年度)
業績	売上高	45,227	46,195	49,125	52,000 (48,800)	55,000 (52,000)
	経常利益	5,474	5,691	6,083	6,100 (5,500)	6,800 + $\alpha$ (6,000)
資本収益性	ROE	8.8%	8.6%	9.0%	8%以上	—
	ROIC	5.8%	6.3%	5.8%	6%以上	—
財務健全性	自己資本比率	69.3%	70.7%	68.2%	60%以上を維持	—

※2026年度想定為替レート1ドル145円

※(カッコ内): 修正前業績目標



## 第2次3カ年経営計画(2024年度～2026年度)への取組状況

### 1. 岡山工場のファインケミカル事業専用化(Step1)の推進

\*赤下線部は2025年7月11日公表の「2025年11月期  
第2四半期(中間期)決算説明資料」からの更新事項

- KrFレジスト用原料専用の新工場建設を進めており、2027年1月竣工予定。既存工場を加えたKrFレジスト用原料の生産能力は概ね2倍になり、2032年度の同製品売上高44億円を目指す(2025年度実績16億円)
- 生産能力増強に加えて営業体制・研究開発力を強化することにより、電子材料分野(半導体素材)を軸に、ファインケミカル事業の売上高拡大を図っていく。
- 持続的な生産能力増強および原価低減に向けた生産設備の再構築が着実に進展
  - ✓ イソブチレン供給設備新設(2025年7月稼働)⇒半導体素材原料の生産能力向上、原価低減
  - ✓ 酸化エチレンタンク新設(2026年度着工予定)⇒合成反応の原料供給体制整備
  - ✓ 再生油ボイラー2基目導入(2026年度着工予定)⇒原価低減、省エネ
- グリニャール反応技術の深化、新規ホスフィン配位子の開発、半導体素材ラインアップの拡充に向け、新領域の開拓に取り組む。



合成第10工場イメージ図

ファインケミカル事業の紹介動画を当社公式YouTubeチャンネルに公開しました(2025.12.01)

URL: <https://www.youtube.com/@hokkochemical>

- ・ファインケミカル事業の強み～強みは「高い技術力」～
  - ・ファインケミカル事業の主力製品「PTBST\*」
- \*PTBSTはKrFフォトレジスト用原料です。



## 第2次3カ年経営計画(2024年度～2026年度)への取組状況

### 2. 農薬事業の収益力向上に向けた事業の再構築

- 国内農薬の生産体制の抜本的な見直しと成長する海外市場での売上拡大を柱とする事業の再構築を推進
  - ①生産拠点の集約化に向けたロードマップを決定。北海道工場の2つの生産ラインを廃止し、岡山工場に残る1つの農薬生産ラインを新潟工場に機能集約する計画。国内農業における厳しい環境に対応し、生産体制・生産設備の最適化を図るとともに、自動化省人化の設備投資(工場および研究所)を進め、コストダウンを徹底する。また、2拠点化を見据えた北海道・新潟工場の生産設備・関連施設の再構築を計画的に進める。
  - ②成長ドライバーの自社原体イプフェンカルバゾン(水稲用除草剤)の海外登録国拡大を推進(世界最大の稲作地帯であるアジアを中心に登録を推進。2025年度に3か国(パナマ、タイ、ベトナム)で新規取得し登録国は8カ国に拡大)。収益性の高い海外売上高の比率を引き上げていく(海外売上高比率:14.7%(2025年度))。
  - ③2025年度においては、製造固定費の削減(工場の効率化)を進めた中で、工場の稼働率が向上したこと等により、営業利益率が1.3%上昇。事業再構築の取り組みが着実に進展。

### 3. 岡山工場ファインケミカル事業専用化Step2の方向性

- 次期3カ年経営計画の専用化Step2として、農薬事業の生産体制を2拠点(北海道工場、新潟工場)に集約し、岡山工場のファインケミカル事業専用化を実現して同事業の持続的な生産能力増強を目指す  
《岡山工場の農薬生産機能》
  - ①除草剤生産ライン⇒北海道工場(2022年10月新ライン竣工)に移管完了
  - ②一般剤(育苗箱剤)⇒新潟工場での生産開始を推進(2030年度を目途)



【参考資料】  
2025年11月期決算時系列データ

# 連結業績

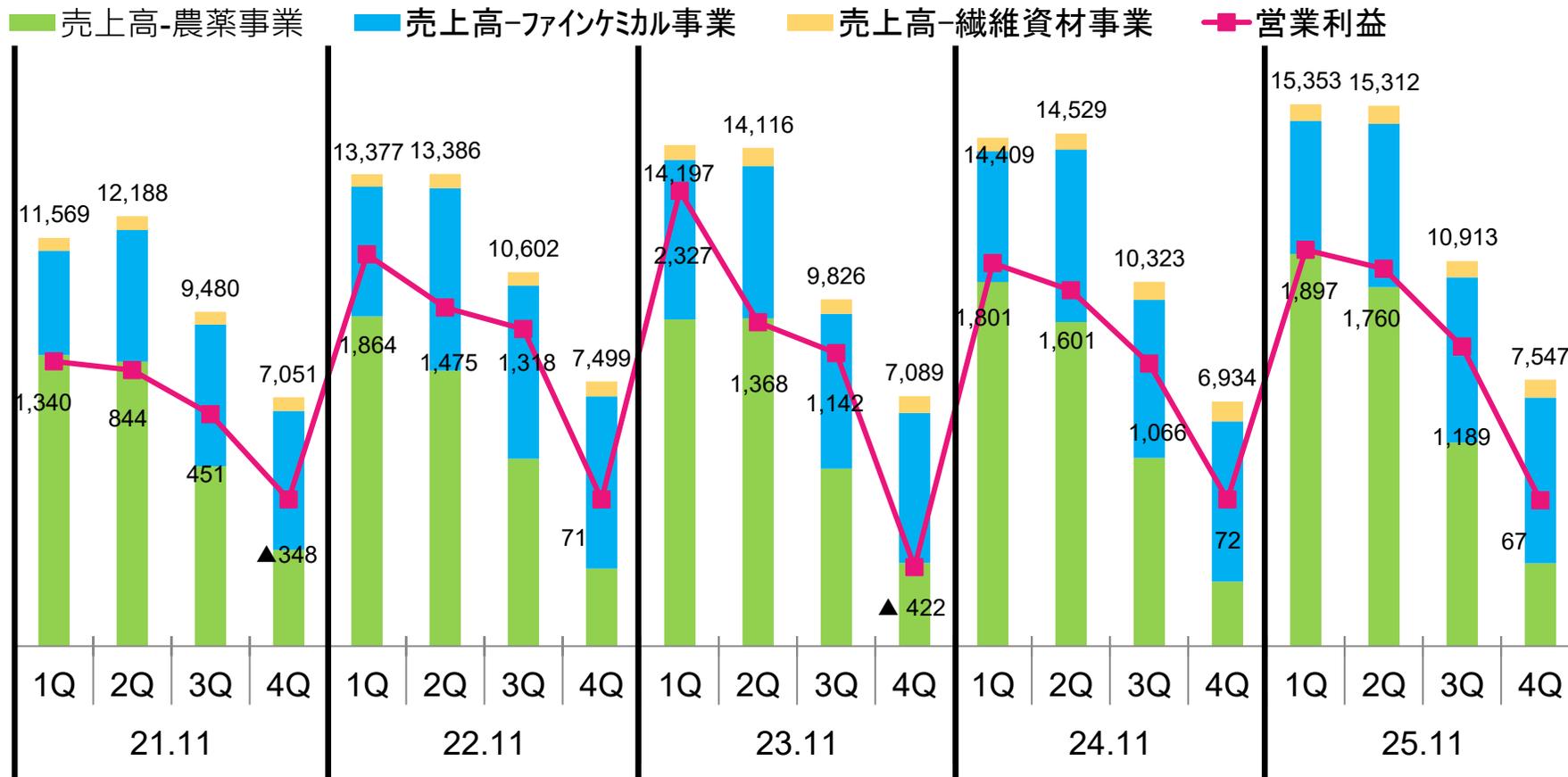
(百万円)

	2021/11	2022/11	2023/11	2024/11	2025/11	前期比	増減率
売上高	40,287 (100.0%)	44,864 (100.0%)	45,227 (100.0%)	46,195 (100.0%)	49,125 (100.0%)	+2,930	+6.3%
営業利益	2,865 (7.1%)	4,727 (10.5%)	4,417 (9.8%)	4,540 (9.8%)	4,913 (10.0%)	+373	+8.2%
経常利益	3,843 (9.5%)	5,905 (13.2%)	5,474 (12.1%)	5,691 (12.3%)	6,083 (12.4%)	+393	+6.9%
当期純利益	2,927 (7.3%)	4,214 (9.4%)	3,724 (8.2%)	4,006 (8.7%)	4,452 (9.1%)	+446	+11.1%



# 連結業績(四半期毎の推移)

(百万円)



- 農薬の需要は季節性があることから、当社の売上・利益の計上は上期に集中し、下期以降は減少する事業特性がある
- 下期は翌春の需要期に備えた生産に入るため、不需求期の販売減少の一方で、製造コストがかかってくる



# 連結業績（四半期毎：前期比）

## ➤ 【農薬事業】

国内農薬の販売は季節性があり、第4四半期（9～11月）は例年売上高が減少する中で、当四半期は販売が堅調に推移し、増収。

## ➤ 【ファインケミカル事業】

第4四半期（9～11月）は、電子材料分野の減収があったものの、医農薬分野の受注増などがあり、増収。

（単位：百万円）

### 〔①2025年度〕

### 〔①2024年度〕

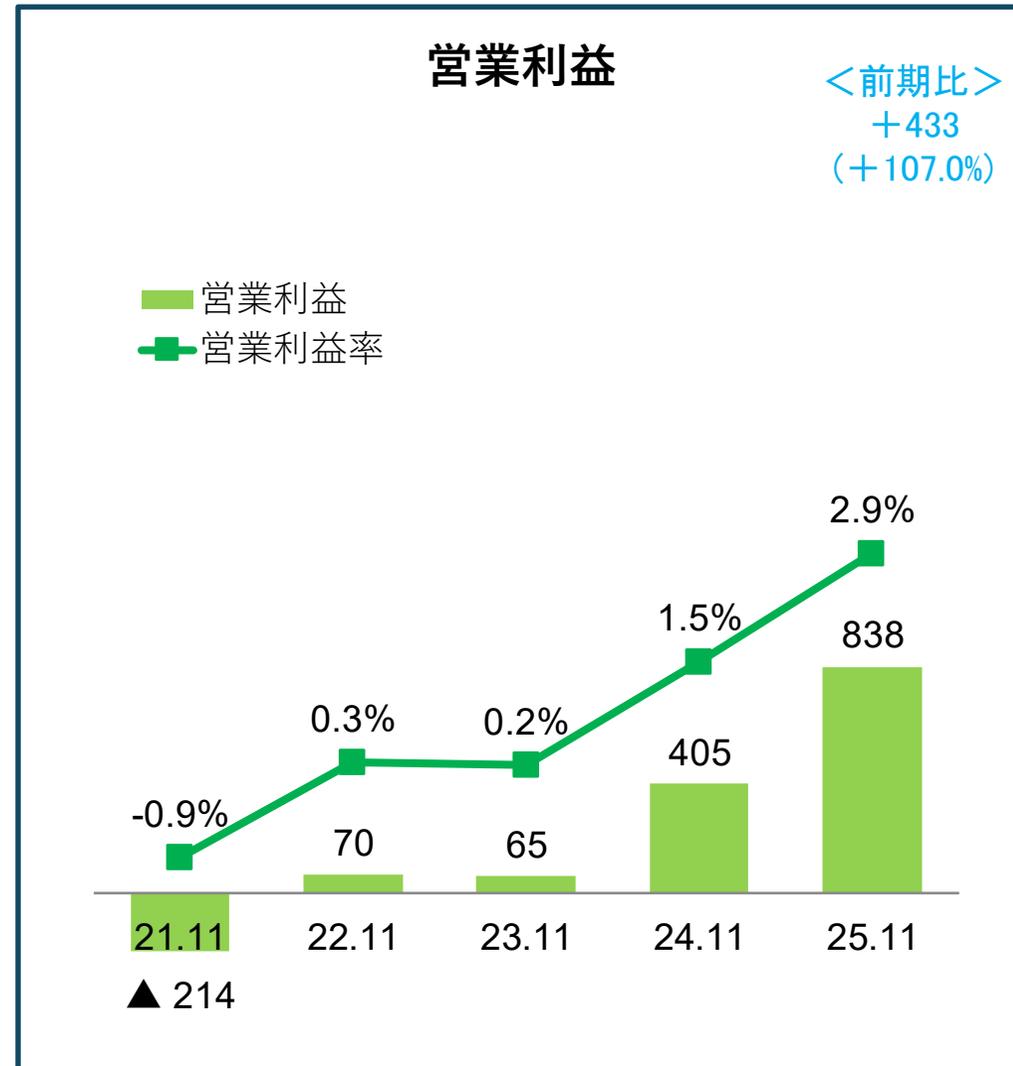
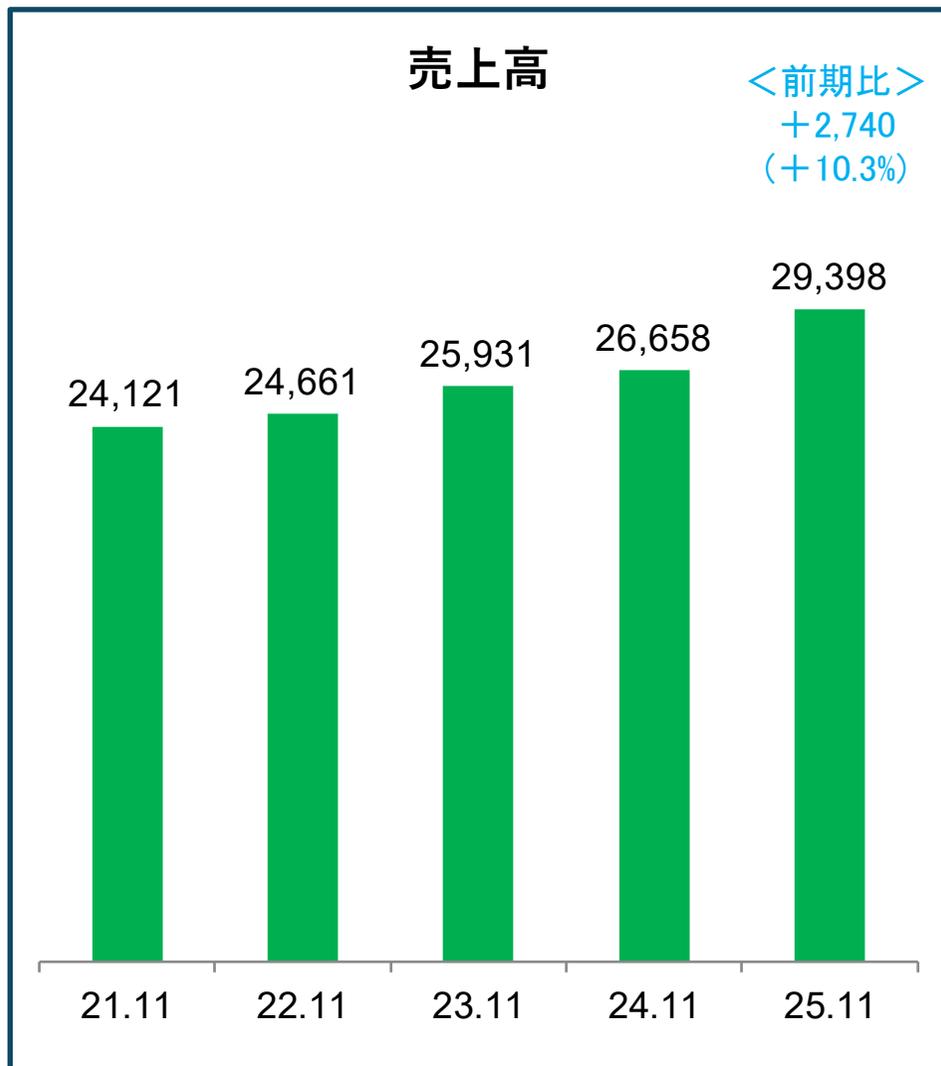
### 〔①－②前年同期比〕

セグメント	項目	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
農薬事業	売上高	11,108	10,171	5,767	2,352	10,317	9,183	5,330	1,828	+791	+988	+437	+524
	営業利益	1,060	652	▲68	▲806	937	247	75	▲854	+123	+405	▲143	+48
	（利益率）	（9.5%）	（6.4%）	（▲1.2%）	（▲34.3%）	（9.1%）	（2.7%）	（1.4%）	（▲46.7%）	（+0.5%）	（+3.7%）	（▲2.6%）	（+12.5%）
ファインケミカル事業	売上高	3,776	4,631	4,688	4,690	3,703	4,883	4,481	4,540	+74	▲252	+207	+150
	営業利益	816	1,092	1,244	853	854	1,337	964	904	▲38	▲245	+279	▲51
	（利益率）	（21.6%）	（23.6%）	（26.5%）	（18.2%）	（23.1%）	（27.4%）	（21.5%）	（19.9%）	（▲1.5%）	（▲3.8%）	（+5.0%）	（▲1.7%）
繊維資材事業	売上高	466	510	456	504	386	460	508	564	+81	+49	▲52	▲60
	営業利益	22	22	15	22	11	22	29	27	+11	+0	▲13	▲5
	（利益率）	（4.8%）	（4.3%）	（3.3%）	（4.4%）	（3.0%）	（4.7%）	（5.6%）	（4.8%）	（+1.9%）	（▲0.4%）	（▲2.3%）	（▲0.4%）



## セグメント別業績 農薬事業

(百万円)

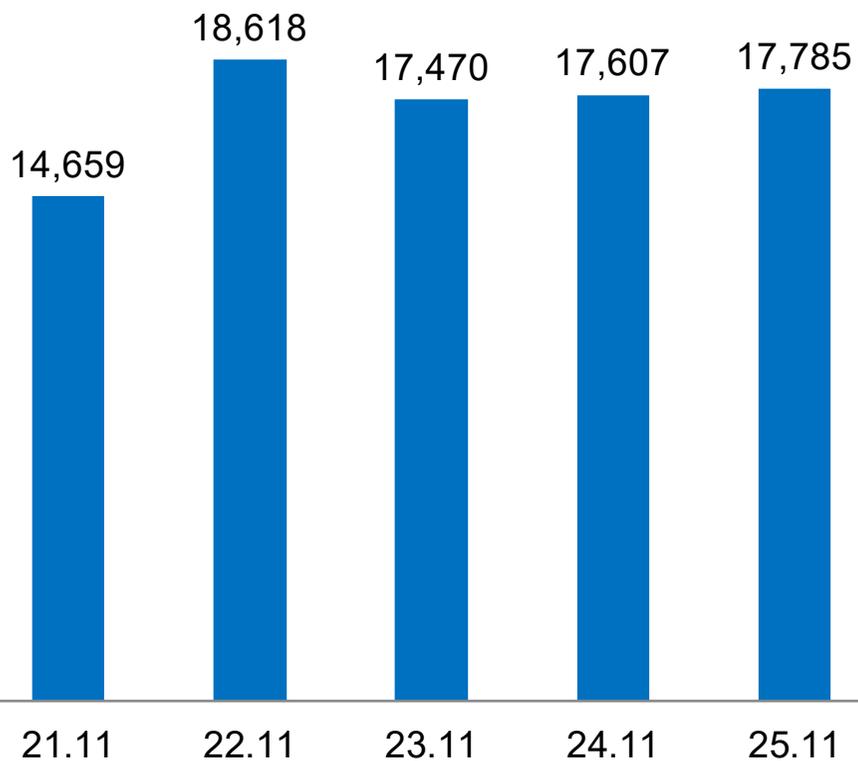


# セグメント別業績 ファインケミカル事業

(百万円)

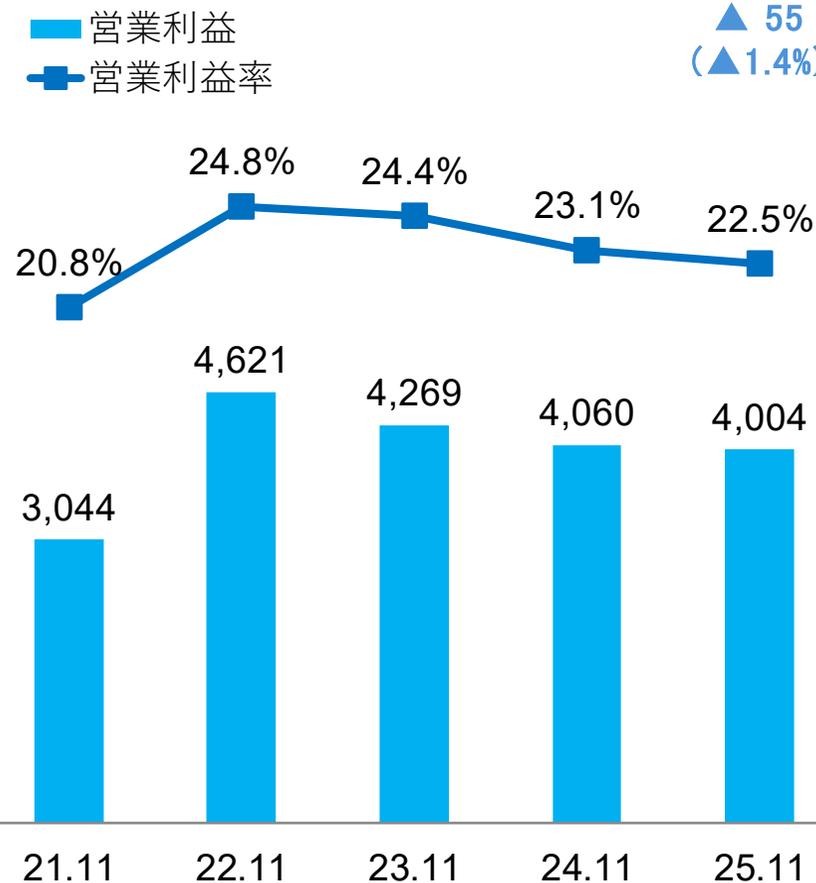
## 売上高

<前期比>  
+178  
(+1.0%)



## 営業利益

<前期比>  
▲ 55  
(▲1.4%)

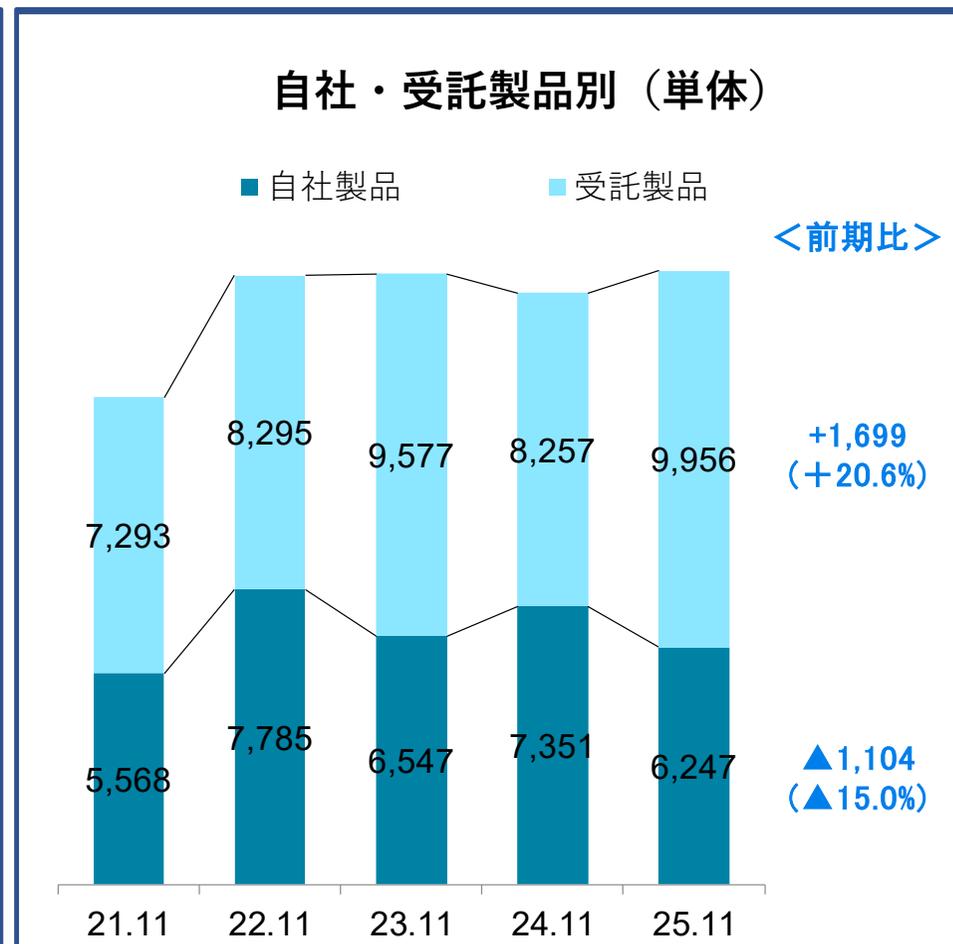
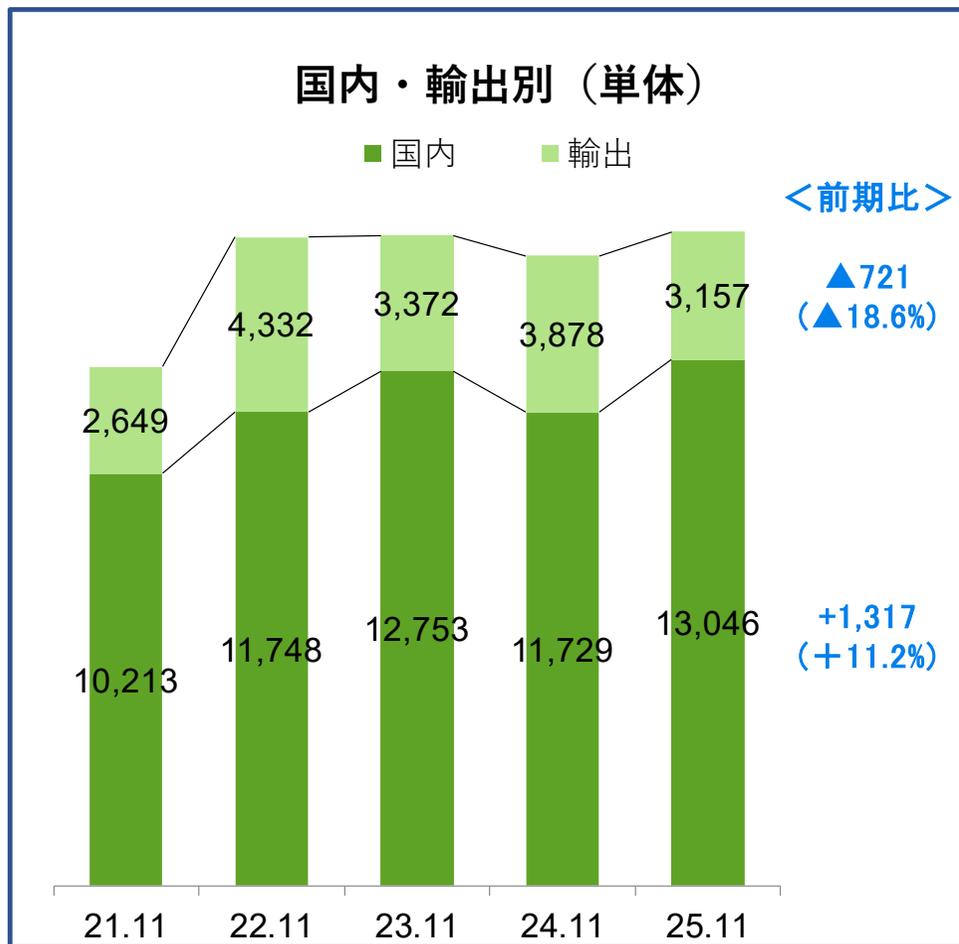


セグメント別業績

## ファインケミカル事業

(国内輸出別・自社受託製品別売上高)

(百万円)



※総売上高による

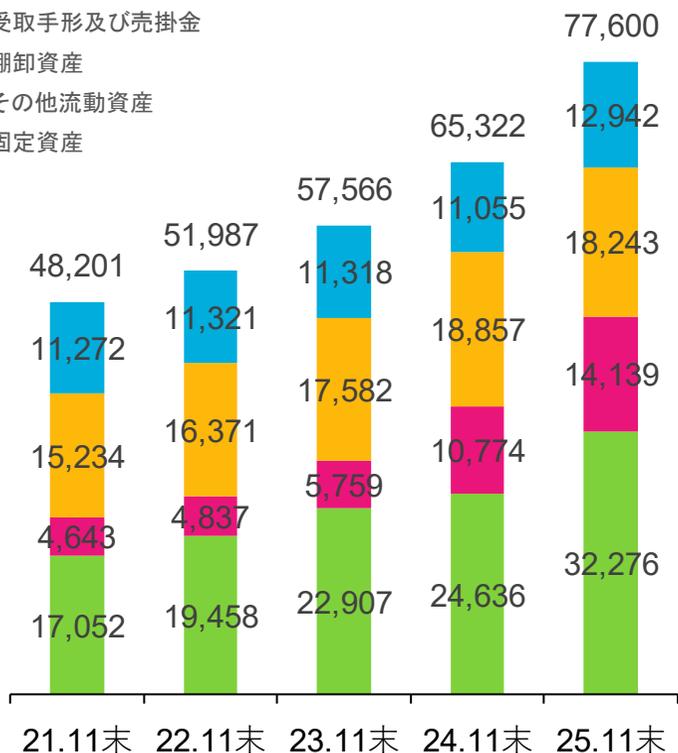


# 連結B/Sの推移

(百万円)

## 資産の部

- 受取手形及び売掛金
- 棚卸資産
- その他流動資産
- 固定資産



&lt;前期比&gt;

+12,278  
(+18.8%)

+1,887  
(+17.1%)

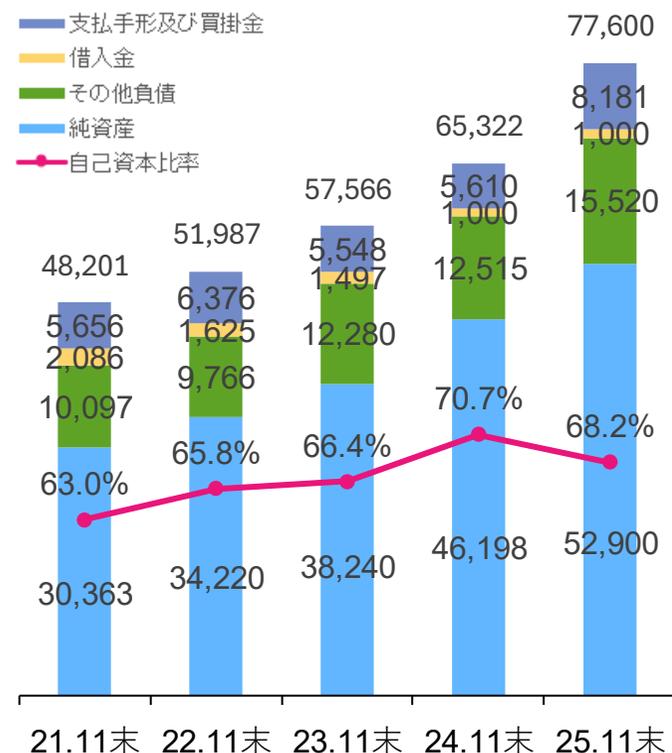
▲614  
(▲3.3%)

+3,365  
(+31.2%)

+7,640  
(+31.0%)

## 負債・純資産の部

- 支払手形及び買掛金
- 借入金
- その他負債
- 純資産
- 自己資本比率



&lt;前期比&gt;

+12,278  
(+18.8%)

+2,571  
(+45.8%)

+0  
(+0.0%)

+3,005  
(+24.0%)

▲2.6%  
(▲3.6%)

+6,702  
(+14.5%)

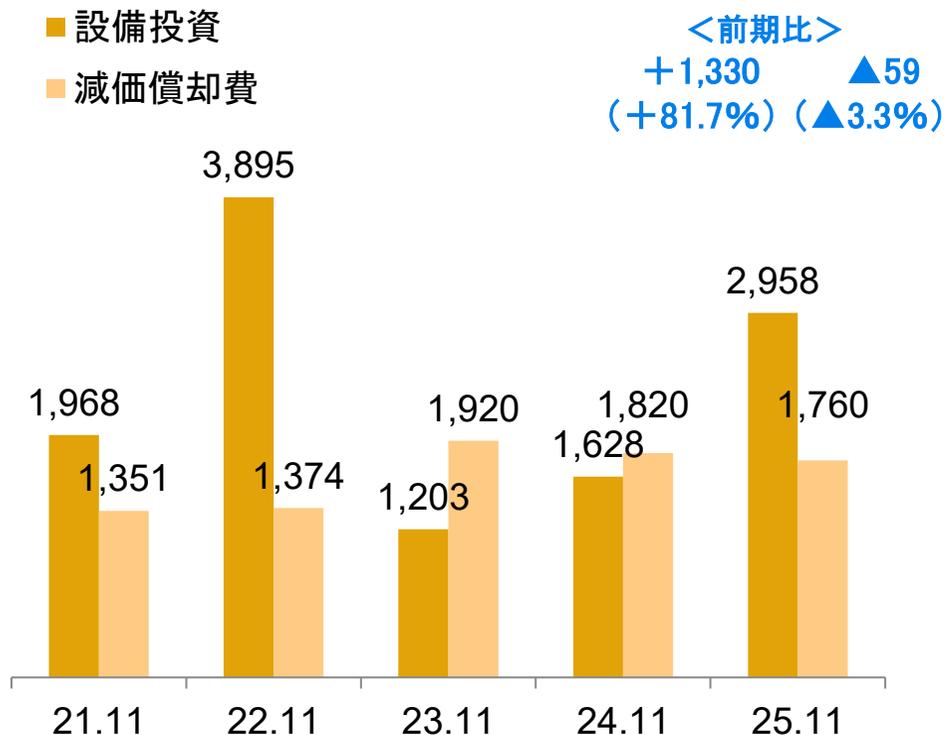
➤ 固定資産の増加により、自己資本比率は68.2%



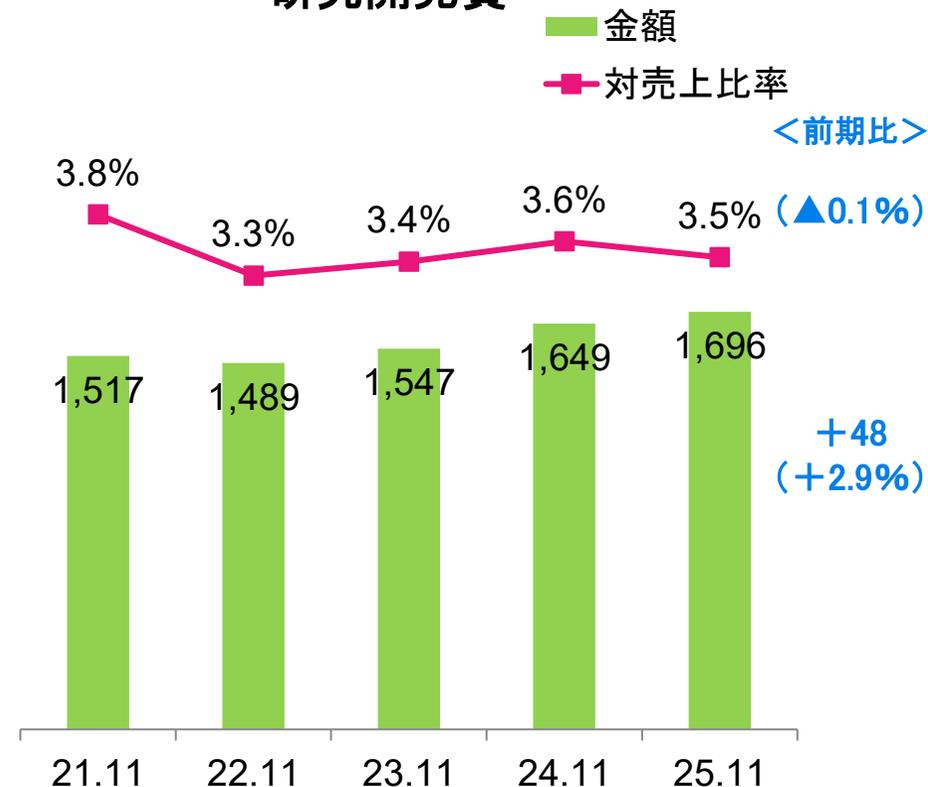
# 設備投資・研究開発費の実績

(百万円)

## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



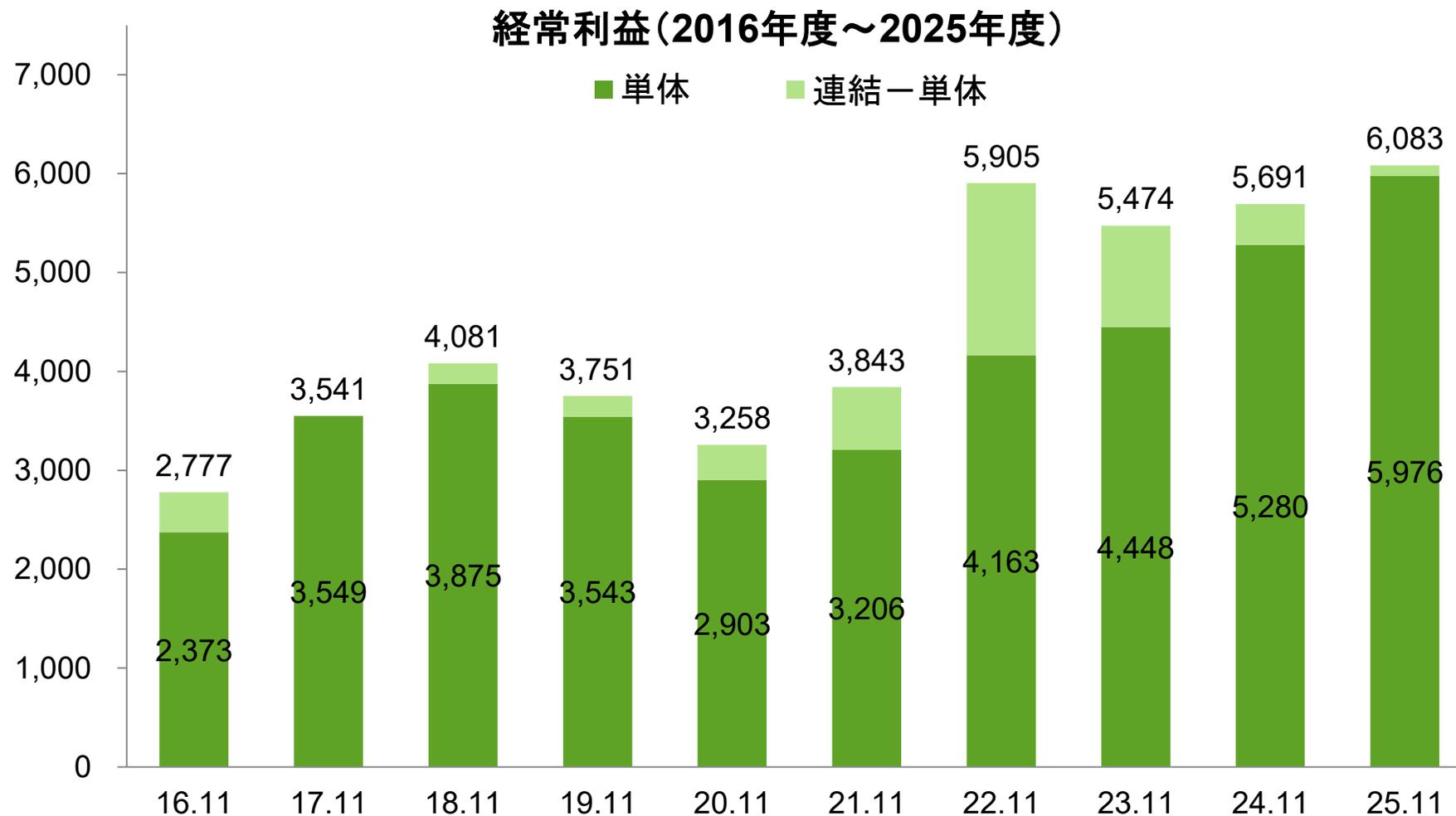
### <設備投資 補足説明>

➤ 2025年11月期は、岡山工場イソブチレン供給設備、合成第10工場(990百万円※)を含む

※建設仮勘定計上額

# 経常利益の推移

単位;百万円



➤ 2025年度の連結経常利益 6,083百万円は過去最高額

本資料に記載されている業績予想・将来の見通しに関する記述等に関しましては、現時点で得られた情報に基づいて判断・算定したものであり、実際の業績は、今後のマクロ経済動向および市場環境、並びに当社グループに関連する業界動向、またその他内部・外部要因等、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

北興化学工業株式会社

企画部 IR担当

電話：03-3279-5151

FAX：03-3279-5195